

## I 全員参加の国語科授業を目指す取組について ～文学的な文章における漫画教材との全文比較を通して～

中学校における文学的な文章の授業では、多くの場合、作品を通読する活動が行われる。しかし、通読することに苦手を感じ、初回から授業を放棄してしまう生徒も多い。そこで、中学2年生の文学的な文章教材であり、文章量の多い『走れメロス』の授業において、初回の授業から生徒全員が意欲的かつ深い学びを実現できるよう、漫画教材との全文比較読みを通して実践を試みた。

### 1 実践の具体

#### ① 漫画版の選定基準

『走れメロス』の漫画作品は多数存在するが、高芝昌子の漫画版『走れメロス』は、原作の流れを大きく崩さず、作者の解釈にもとづいた追加の描写を多数入れ込んだ作品である。この追加描写によって、原作との人物像にズレが生じ、比較を通して両作者の人物設定をより深く読み取ることができる。

#### ② 通読を行う順番

原作を読む意欲を高めるため、最初に漫画版を通読し、その後に原作を通読するようにした。原作を読む際には、漫画との描写の違いを楽しみながら探しており、大半の生徒が集中して通読に取り組んでいた。

### 2 実践の成果と今後の方向性 (タイトルは実践に合わせて変更してもよい)

授業後に行ったアンケートでは、89.4%の生徒が「授業がよく分かった」と答えており、72.3%の生徒が「授業が楽しかった」と答えている。漫画を使用した導入にすることで、生徒全員が大まかなあらすじを捉えることができ、その後の活動も意欲的な姿がよく見られた。本単元をはじめとした、生徒の日常に近い媒体を単元に組み込むことによって、国語好きの生徒が増えている。

原文と漫画の比較読みを行うにあたり、単元あたりの時間数が多くなってしまった。焦点化で取り上げられなかった指導項目もあるため、教師が単元で身につけさせたい力を明確に定めた上で、ポイントを絞った比較読みを行っていきたい。